

GiDai News

熊本県立技術短期大学校

熊本県立技術短期大学校の学生の様子やさまざまな取組みを

「GiDaiNews」としてみなさまにお届けします。

今回は、「オープンキャンパス」「学園祭」の様子などを取り上げました。

R1 第2号

2019年12月発行



NEW !

令和2年度(2020年度)から「電子システム技術科」は「電子情報技術科」に変わります。

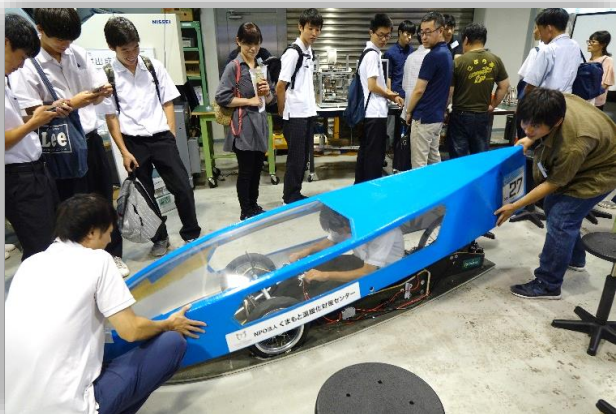
EVENT

オープンキャンパス

7月27日（土曜日）、28日（日曜日）にオープンキャンパスを開催しました。各学科の最新設備や、それらを使った様々な実験・実習の紹介並びに体験学習、さらには学生による学習成果物の説明や学生生活、就職についての意見交換を行い、大勢の参加者に技大の魅力を肌で感じてもらいました。

技大の雰囲気や学生の生の声で、様々な角度から知ってもらう格好の機会となりました。

精密機械技術科



機械システム技術科



電子システム技術科





技短祭 2019

10月27日（日曜日）、「令和～時代の始まり～」をメインテーマに、恒例の技短祭（学園祭）＆オープンキャンパスを開催しました。

メインステージでは、福岡よしものお笑い芸人「ぶんぶん丸」と「メガモッツ」によるお笑いライブや、学生参加の早飲み大会、カラオケ大会、コスプレ大会、サークル発表（軽音サークル、ゲームプログラミングサークル）、クイズ大会、ビンゴ大会を行い、学生達のはつらつとしたパフォーマンスで、まさに新時代の始まりにふさわしい盛り上がりとなりました。

また、メインステージ周辺では各クラスによる模擬店の出店もあり、大勢の来場者でにぎわいました。



CAMPUS LIFE① 企業実習

(11/11~21)

社会人としての意識付けや職業人としての心構えを身に付けるため、1年生は、毎年11月、約2週間の企業実習（インターンシップ）を体験しています。

今年の企業実習について、一部ご紹介します。

白鷺電気工業株式会社



白鷺電気工業株式会社は、電気工事を主な業務として、電力プラント、情報通信設備サービス、省エネ・省コストサポートなど幅広い事業を展開している会社です。

機械システム技術科の山本啓誠さんが企業実習を体験しました。

実習では、安全衛生教育から始まり、変電所の見学、情報通信部門の光ファイバー接続、ドローンを使った送電線鉄塔延線作業など、普段の授業では学ぶことの出来ないものばかりでした。

山本さん談：発電所や変電所、高所での鉄塔作業など学ぶことができ、安全に電気を家庭に届けることがいかに難しいかを学びました。大変ためになりました。

コベルコ建機日本株式会社



コベルコ建機日本株式会社は、1930年に国産建設機械第一号機となる電気ショベルを発売して以来、建設機械・運搬機械の製造、販売、サービスを手掛けている会社です。

精密機械技術科の羽根田岳門さんが企業実習を体験しました。

写真は、実習8日目のパワーショベルの内部部品の分解と清掃作業の実習の様子です。

羽根田さん談：僕にとっては全てが良い経験でした。

機械内部の仕組みがとても難しく、理解することが難しいです。パワーショベルの点検時に操縦させてもらった時には感動しました。

金剛株式会社



シーケンス制御を用いた耐久試験作業

金剛株式会社は、上益城郡嘉島町に工場があり、オフィス・文化施設関連設備の設備設計から製造販売、メンテナンスまでを一貫して行っている会社です。

精密機械技術科の原田真幸さんと、機械システム技術科の田上遥さんが、製品の開発プロセス（3DCADを用いた設計、3Dプリンターを用いた試作、耐久試験等）の一連の流れを体験しました。

原田さん談：3DCADによる設計は初めてでしたが、基本的な事から教えていただき、とてもいい経験になりました。

田上さん談：耐久試験等、学校では経験することのできない作業ができてとても良い勉強になりました。

CAMPUS LIFE② 工場見学

本校では、これから就職活動が始める 1 年生が、夏休み期間中に、Ⅰ群（機械系）・Ⅱ群（電子情報系）に分かれて、普段はなかなか見ることが出来ない工場の現場を見学しました。

トヨタ自動車九州株式会社宮田工場



8月26日(月曜日)、Ⅰ群（機械系）1年生は、トヨタ自動車九州株式会社宮田工場を訪問しました。

トヨタ自動車九州株式会社では、主に高級ブランド車“LEXUS(レクサス)”を生産しており、今回は自動車の組立工程と検査工程を見学しました。

学生達は、授業内容が生産現場で実際使われている様子に興味津々でした。また、普段乗ることができないLEXUSの展示車に乗りその機能を直接体験するなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。

この工場見学を通して、日本のものづくりの技術の高さを実感したとともに、学生達にとってはこれから臨む進路選択の参考になりました。

株式会社安川電機



8月30日(金曜日)、Ⅱ群（電子情報系）1年生は、創立100周年を迎える産業用ロボット世界トップシェアのメーカーである株式会社安川電機を訪問しました。

今回は、安川電機みらい館、ロボット第1工場および第2工場の3施設を見学しました。

安川電機みらい館では、医療や福祉に応用されているロボットや7自由度を持つロボットなどの紹介がありました。また、ロボットVS人のもぐらたたき対決や、学生がばらばらに崩したルービックキューブを6面そろえる双腕ロボットなどの体験型アトラクションがあり、学生は興味を持って見ていました。

今回参加した1年生は、後期となる10月から、分属して「電子システム技術科」と「情報システム技術科」に分かれました。今回の見学を参考にし、これからの勉強へのやる気、そして就職活動につなげて欲しいと思います。

若年者ものづくり競技大会の結果

「第14回若年者ものづくり競技大会」が7月29日～8月2日の間に、福岡県内で15職種の競技が行われました。この大会は、ものづくりを学んでいる若年者が目標を持って技能を向上することにより就業促進を図り、併せて若い技能者の裾野の広げることを目的としています。

本校からは3職種5名の学生が出場し、熊本県代表として精一杯戦いました。結果は以下の通りです。

- | | | | | |
|-------|---------|-----|-----------------|------|
| ・機械加工 | フライス盤部門 | 銅賞 | 高木恵吾（精密機械技術科2年） | ※写真右 |
| ・機械加工 | 旋盤部門 | 敢闘賞 | 後藤大輝（精密機械技術科2年） | ※写真左 |



後藤選手（競技中）



高木選手（競技中）



高木選手： 本番は緊張しましたが自分の加工ができてよかったです。全国レベルでも通用する学校・学科に在籍していることを誇りに思います。先生方ご指導ありがとうございました。

後藤選手： ミスの許されない戦いであることは承知していました。重圧と緊張で不安でしたが、磨いてきた自分の技術を信じてやりきりました。ご指導いただいた先生方にとっても感謝しています。

CIRCLE（サークル紹介）



軽音サークル

部長 菊川 祐成（情報システム技術科）

10月の技短祭には、2年生バンド、1年生バンド、1年・2年の合同バンドの3バンド出演しました。

先輩後輩の仲が良く、和気あいあいとした雰囲気です。活動しています。初心者から練習して技短祭のステージに立ったメンバーも多くいます。

ぜひ、時間があるときに見に来て下さい。

バドミントンサークル

部長 荒尾 哲平（情報システム技術科）

現在、主に金曜日に本校体育館で活動しています。気持ちよい汗をかくて、運動不足を解消しています。バドミントンは初心者でも楽しみやすいスポーツです。やってみたい方は声をかけて下さい。お待ちしております！



【特報】野球部がついに初勝利！

10月27日(日)、菊池郡軟式野球連盟主催の西日本二部大会に出場し、公式戦初勝利を飾りました。

野球部が発足して2年半。今回の公式戦初勝利はたくさんの方々のご協力のおかげです。菊池郡軟式野球連盟の皆様をはじめ、練習試合等でお世話になりました企業チームの方々、技大野球部OBの方々、部員一同心より感謝を申し上げます。これからも応援よろしくお願いいたします。

VOLUNTEER

(地域貢献活動)

本校の学生は、ボランティア活動に積極的に参加しています。

特に、ロボットプログラミング教室、企業 EXPO、すぎなみフェスタなど、本校周辺の地域の子供たちにもものづくりの楽しさを伝える活動に取り組んでいます。

小学生プログラミング体験（菊陽 8 月）



小学校教員プログラミング研修（山鹿 8 月）



企業 EXPO（西原 10 月）



ロボットプログラミング体験教室（菊陽 10 月）



すぎなみフェスタ（菊陽 11 月）



TOPIC

玉名工業高校の生徒が学校見学に来校



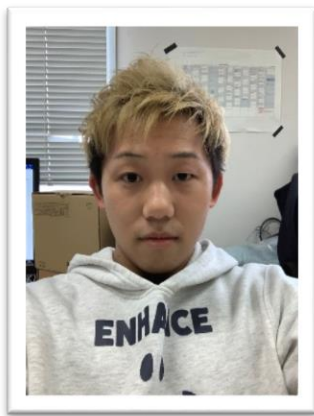
11月5日(火曜日)、玉名工業高等学校電子科1年生38名と引率の先生2名が来校されました。

里中校長から歓迎のあいさつの後、本校が目指す人材育成や魅力について紹介しました。

また、4学科の授業実習を順に案内し、各授業担当者から、授業の内容が将来どのように役立つのかを中心に説明を行いました。

授業実習見学の後は、玉名工業高校電子科出身で情報システム技術科2年の米岡雄太郎さんが、自らの経験に基づく想いを後輩に伝えました。

本校卒業生が九州工業大学大学院に進学決定



技大の情報システム技術科で2年間学び、さらに知識・技術・技能の向上を目指し、九州職業能力開発大学校の応用課程に進学しました。

九州職業能力開発大学校では、生産電子情報システムに在籍し、今まで学んだ情報技術や電子技術をさらに深め、課題学習などで応用することで、総合力を身に付けました。九州職業能力開発大学校の応用課程を卒業すると4年制大学と同等の就職活動を行えますが、就職の幅を広げたいことと、さらに学ぶ意欲が湧いてきたことから、大学院への進学を決めました。

入学資格審査などを受ける必要がありますが、日頃からしっかりと学習して試験対策を行ったので、特に問題なく合格することができました。進学して技術力の向上に加え、研究活動にも頑張っていきたいと考えています。そして、希望の就職ができるよう努力していきます。後輩の皆さんも勉学に励み、希望の就職ができるよう頑張ってください。(西村 和真)

野崎わかば会奨学金制度

情報システム技術科2年の山本恭平です。

この度、野崎わかば会奨学金制度を学校から紹介していただき、校長推薦によって奨学金の給付を受けることが出来ました。

私は、幼い頃からパソコンが身近にある環境に育ち、小学生の頃からIT関係の仕事に就きたいと思っていました。将来を考えたとき、短期間で集中的に技術を学べる熊本県立技術短期大学校の情報システム技術科を選びました。人の役に立てるソフトウェアを作りたいと考え、特にプログラミング技術に主眼をおいて学んでいます。学校では友人とともにプログラミングサークルを立ち上げ、本校の学園祭“技短祭”では、作成したプログラムの発表を行いました。

学校での学びに加え、自主的にプログラミングを学び続けています。奨学生として期待に応えられるよう、今後も努力していきたいと思います。



次号は、令和2年(2020年)3月発行予定です。



熊本県立技術短期大学校情報誌 GiDaiNews R1 第2号 (情報誌通算 No. 43)
令和元年(2019年)12月

発行：熊本県立技術短期大学校 編集：広報委員会

〒869-1102 菊池郡菊陽町原水 4455-1 (セミコンテクノパーク内)

Tel 096-232-9700 Fax 096-232-9292

URL <http://www.kumamoto-oct.ac.jp> E-mail: koct@kumamoto-oct.ac.jp

